

平成20年度 千葉工業大学技術士会総会・懇親交流会を終えて
産官学融合センターと技術士会について

第4回 千葉工業大学技術士会総会報告

○総会 ○見学会・懇親会

広報委員会活動報告

受験支援委員会報告

平成21年度 活動計画書

平成21年度 専門特別講義について

JABEE認定について

会員の広場

会員の入退会状況

○会員状況 ○ホームページ開設のお知らせ

事務局だより



第4回 総会の懇親会模様

平成20年度 千葉工業大学技術士会総会・懇親交流会を終えて

アメリカに端を発した金融経済危機は日本でも10年一度の不況といわれています。いまだに出口の見えない経済環境の中で、平成21年6月27日千葉工業大学技術士会の第四回総会が多くの会員、賛助会員が出席して開催されました。総会は創立以来ご指導賜りました南（名誉教授）顧問の後任として産官学融合センター運営委員長の山口佳和教授と高橋芳弘先生を新顧問に迎えて、無事終わることができました。

総会に引き続き、今年完成した津田沼キャンパス新1号棟（20階建て）の見学会を行いました。600名を収容できる多目的ホールの緞帳（京都西陣織）は壮大な未来のテクノロジーをイメージする素晴らしいもので参加者は感動しました。

見学会後の懇親交流会は新1号棟の20階の展望ホールで開催いたしました。猛暑の土曜日にもかかわらず本岡学長はじめ多くの先生方、金子事務局長や新たに本技術士会の大学側窓口になる産官学融合課の方々のご参席を賜り親しく有意義な懇親、交流をすることができました。

千葉工業大学技術士会もお陰様で本年9月16日で5年目を迎えることになりました。これも、ひとえに、千葉工業大学当局、同窓会、会員、賛助会員の皆様のご支援の賜物と感謝いたしております。

平成21年7月15日
千葉工業大学技術士会
会長 溝邊哲男



平成20年度における本技術士会の特記事項は下記の通りでした。

1. ホームページ開設

本会の創立以来の念願でありました、ホームページが大学側のご厚意により開設の運びとなりリアルタイムな情報の提供が出来るようになった。

2. 「技術士制度解説シリーズ」の小冊子の改訂版を600部増刷・配布し広く卒業生や在學生に技術士制度の啓蒙を行った。

3. 特別講義の実施

機械サイエンス学科と電気電子情報工学科に対する特別講義とJABEEの啓蒙を実施した。

4. 卒業生、在學生の技術士資格取得支援活動

5. 同窓会より支援

昨年に引き続き支援金を頂きました。

今年度の主な活動としては下記を計画しております。

1. 産官学融合センターの活動の支援と協力

2. 大学の研究成果の事業化への支援

3. 専門特別講義

機械サイエンス学科と電気電子情報工学科三年生の専門特別講義は昨年に引き続き実施。

今年度からは電気電子情報工学科一年生への専門特別講義も実施。

4. JABEE認定取得への支援

5. 卒業生、在學生の技術士資格取得支援

6. 千葉工業大学と同窓会の発展への全面的な協力

7. 大学技術士会連絡協議会との連携

千葉工業大学技術士会はまだまだ多くの課題を抱えておりますが、本会および大学・同窓会の発展のために、今後も皆様方の温かいご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

産官学融合センターと技術士会について

千葉工業大学 産官学融合センター運営委員会委員長
(社会システム科学部経営情報科学科教授)

山口 佳和

平成 21 年 4 月より前任の小林先生の後を引き継いで、千葉工業大学産官学融合センター運営委員会委員長を拝命しました山口です。千葉工業大学技術士会の皆様方には、常日頃より産官学融合センターの活動に格別のご支援、ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

技術士会は、会員相互の懇親交流、研鑽、並びに千葉工業大学の建学の精神に沿った教育と研究への協力と支援を行い、技術士の識見に基づき、時代の要請にたった社会的な活動を展開し、千葉工業大学の発展に寄与することを目的に、平成 17 年 9 月に設立されました。以来、積極的に各種の活動を展開されてきたと承知しています。

また、現在の大学の使命は教育、研究、社会貢献の 3 つであると言われていています。このうちの社会貢献の 1 つとして、千葉工業大学では、産官学連携の対外活動の窓口業務の一元化を狙いとして、各種の産官学連携業務を集約した産官学融合センターを平成 17 年 10 月に発足させました。

産官学融合センターは発足以来、千葉工業大学が保有する技術、人材などの知的資源を社会に適用し活用することにより社会貢献を行うべく各種の活動を展開してきましたが、まだまだ十分と言える状況ではありません。特に、産業界との連携を推進するためには、大学だけでは知識や経験が不足しており、様々な方々の力をお借りしなければなりません。

例えば、産業界と大学とでは組織の目的や性格から日常的な仕事の進め方や慣習まで大きな違いがありますから、両者をつないで連携を成立させるコーディネーターが必要です。このコーディネーターを行う人材には、技術をしっかりと身に付けていて、産業界での経験が豊富であることが求められます。組織と組織、人と人の中に入って両者をつなぐ役割ですので、コミュニケーション能力が高く、幅広い人脈を持っていることも求められます。このため、技術士として高度な技術を習得し、産業界の最前線で活躍され経験豊かな技術士会の皆様方に期待するところは大きいものがあります。

技術士会と産官学融合センターはほぼ同じ時期に設立され、千葉工業大学の発展に貢献するという目的も同じです。両者が力を合わせるにより産官学連携の促進に大きな力を発揮することができ、千葉工業大学の発展に少なからず貢献できるものと確信しています。引き続きのご支援、ご協力を、何とぞよろしくお願い申し上げます。

以 上

第4回 千葉工業大学技術士会総会報告

『総会』

総会の内容は下記の議事録をご参照ください。

第4回千葉工業大学技術士会総会議事録

【開催日時】平成21年6月27日（金）15:00～16:00

【開催場所】千葉工業大学 新1号館 3階大会議室

【出席者】（顧問・役員・委員）

顧問：山口佳和 顧問：高橋芳弘 千葉工大事務局：金子和弘

会長：溝邊哲男 副会長：粕谷太郎 理事：黒澤伸好 理事：町田文男

理事：松野勝 理事：影山輝彰 監事：中島浩 理事：児島雅範

委員：堀田光

会員：出席19名、委任状提出45名 合計64名

【議事内容】

1. 議長並びに議事録署名の選出及び総会成立の確認

児島理事 ・会則第13条（職務）に則り、総会の議長を溝邊会長とする。

町田理事 ・本日の出席者は、19名、議決権を議長に委任した者が、45名である。また、本会員総数が111名である。よって、本会は有効に成立する。議事録署名人の立候補が無ければ、議事録署名人を土木S53卒の堀田光さんとする。（選出）

2. 議事

2.1. 第1号議案：千葉工業大学技術士会会則の改正

溝邊議長 ・「千葉工業大学技術士会会則（以下、会則と称す）の改正」を審議する。

町田理事 ・会則、「第1章 総則」の第3条（活動）を「(2) 大学の卒業生に対する技術情報提供・指導、技術士試験の受験支援に関する活動」、「(3) 大学の学生および院生に対する技術士第一次試験の受験支援に関する活動」に改定する。

・会則、「第2章 会員および賛助会員」を「第2章 会員」、第5条（会員）「本会の会員は、正会員、特別会員および賛助会員をもって構成する。」に改定する。また、3項に特別会員の位置付けとして「特別会員は、本会の発展拡大および事業活動等に貢献している者とする。」記述を新たに加える。

・会則、「第3章 役員および組織」の第11条（役員）における監事を「2名」から「3名以内」、第15条（顧問等）における3項を「顧問は、本会の事業活動に貢献した会員ならびに大学に關係する教職員等の中から推挙する。」に改定する。

- ・会則、「第7章 補足」(附則)の2項を「2. 本会最初の役員の任期は、第14条の規定にかかわらず本会の設立の日から平成19年度総会までとする。」に改定する。
- ・これら会則の改正は、第25条に則り、役員会の決議を経て総会の承認により決定したため、新たに、(附則2)として「この会則は、平成21年6月27日から施行する。」を加える。

<議案承認>

2.2. 第2号議案並びに第3号議案

- 溝邊議長 ・平成20年度事業に係る報告として、第2号議案の「平成20年度事業(活動)報告」並びに、第3号議案の「平成20年度収支決算・監査報告」を審議する。
- 町田理事 ・第2号議案の「平成20年度事業(活動)報告」を報告した。なお、会員より指摘があった、「電気電子情報工学科特別講義」の開催に関する記述については、前期・後期の区別を追記する。
- 中島監査 ・第3号議案の「平成20年度収支決算・監査報告」を報告した。
- 中島監査 ・第3号議案の「平成20年度収支決算・監査報告」の内容について、適正かつ正確であることを証明する。

<議案承認>

2.3. 第4号議案並びに第5号議案

- 溝邊議長 ・平成21年度事業に係る報告として、第4号議案の「平成21年度事業(活動)計画」並びに、第5号議案の「平成21年度予算書(案)」を審議する。
- 町田理事 ・平成21年度事業に係る報告として、第4号議案の「平成21年度事業(活動)計画」を説明した。なお、会員より指摘があった、各活動内容の達成度評価に係わる数値目標化については、次回役員会にて検討する。
- 町田理事 ・第5号議案の「平成21年度予算書(案)」を説明した。

<議案承認>

2.4. 第6号議案役員人事

- 溝邊議長 第6号議案の「平成21年度 役員・顧問・委員(案)」を審議する。
- 町田理事 ・本会の役員・顧問・委員体制として、6号議案の「平成21年度 役員・顧問・委員(案)」を説明した。

<議案承認>

3. 閉会

- 粕谷副会長 ・第四回総会の議案の審議をすべて承認し、総会を終了する。

議事録署名人 堀田 光 (昭和53年卒)



以上



【 総会出席者集合写真 】



【 総会の状況写真 】

『見学会・懇親会』

総会終了後に大学関係者により新1号棟の内部の案内・説明がありました。新設備の素晴らしさに会員一同は母校の躍進に誇りを感じました。さらに見学会の後に新1号棟20階の展望ホールで本岡学長はじめ大学側関係者のご出席を頂き懇親会が盛大に開催されました。



【 見学会の様相 】



【 懇親会の様相 】

広報委員会活動報告

広報委員会委員長

町田 文男

広報委員会の主な活動は、千葉工業大学技術士会を在校生や卒業生により多く知っていただき、出来るだけ多くの技術士有資格者の方が技術士会に入会していただけるよう、広報普及活動を行うことにあります。平成20年度の主な活動は以下の通りでした。

○技術士制度解説シリーズ増刊号の発行

技術士とはどういう資格か？技術士試験制度と受験資格の条件は？今年の試験日程などの情報、卒業生合格者の受験体験談などを掲載。

○技術士会ホームページの開設

千葉工業大学技術士会の設立目的、組織、活動内容等を紹介。

○広報活動として「校友タイムス」「ニュースCIT」への投稿

○会報の発行

年間一回の発行

今年は、4年目を迎え、さらにホームページを開設し、活動内容の更新、会員各位の情報交換ができるように充実させていきたいと思っています。

現在広報委員は会員の山下様、宮前様、児島様、堀田様、松野様、内藤様に絶大なご協力を頂き、何とか活動しておりますが、全員が建築、土木出身ですので、出来ればその他の多くの部門の技術士の方々のご協力、参加をお願いしたいと思っています。また、皆様からの寄稿文、企画提案等をお待ちしていますので、事務局のアドレスに、ご連絡をお願いします。今年の会報の発行が遅くなり会員皆様に変なご迷惑をおかけ致しましたことを深くお詫びいたします。

受験支援委員会報告

受験支援委員会委員長

久多羅木 吉治

平成21年度の技術士試験も第二次試験の口頭試験を除いて全て終わり、それぞれに結果が発表されてきていることと思います。

我が千葉工業大学技術士会も早いもので創設以来4年がたちました。

この間多くの在校生、卒業生が技術士試験に挑戦され、第一次試験あるいは晴れて第二次試験に合格されている方もおります。そして技術士補あるいは技術士の仲間入りをされ、従来以上に各方面で活躍されていることと思います。

私達は母校である千葉工業大学の学生、OBに対し、少しでも多くの方に資格を取得していただきたいと願い、大学、同窓会をはじめ大学に関係する多くの方々の御支援の下、卒業生有志により千葉工業大学技術士会を発足しました。そして何よりそれを具体的に実践する一組織として本受験支援委員会があります。

現在の具体的活動は大学や同窓会事務局あるいは委員を通じて寄せられた受験に関する幅広い質問に対応をしたり、試験の傾向と対策についてご説明したり、さらには技術士制度についての詳しい解説等も行っています。

技術士は「科学技術に関する技術的専門知識と高等の応用能力および豊富な実務経験を有し、公益を確保するため、高い技術者倫理を備えた、優れた技術者」の育成を図るための国による技術者の認定制度です。

すなわち、科学技術に関する高度な知識と応用能力および技術者倫理を備えている有能な技術者に技術士の資格を与え、この有資格者のみに技術士の名称の使用を認めることによって技術士業務に対する社会の認識と関心を高め、より一層の科学技術の発展を図ることとしています。

技術士試験はご承知のように「技術士第一次試験」および「技術士第二次試験」に分けて、文部科学省令で定める技術部門ごとに行うとされています。そして合格し、登録した人は最新のデータで昭和33年度以来、平成21年現在で技術士の合計は約6万3千名で、技術士補は約2万3千名です。

技術士制度が発足以来約半世紀の間（第一次試験は昭和59年度から）の合格率は第二次試験が約19%程度で第一次試験は約35パーセント程度となっていますが、昨年の平成20年度はそれぞれ約15パーセント程度、約35パーセント程度となっており、やや第2次試験の合格率が下がっています。

以下に、これから技術士試験に挑戦しようとする方のために第一次試験を中心にご説明しますが、勿論第二次試験を目指す方も参考にしてください。

第一次試験は技術士となるのに必要な科学技術全般にわたる基礎的学識および技術士補となるのに必要な技術部門における専門的学識を有するかどうかを判断することとされていると同時に、国際的な平等性の確保の点からも、大学のエンジニアリング課程程度となっています。受験資格は年齢、

学歴、業務経験等による制限はありません。

それぞれの詳しい内容は省略しますが、試験の方法は「基礎科目」、「適正科目」、共通科目、および「専門科目」により行われ、全て択一式問題で、試験時間は前二者がそれぞれ1時間、後二者がそれぞれ2時間で行われます。

試験の日程は毎年ほぼ同時期に予定されております。3月上旬に官報により試験実施の公告がなされ、6月上旬に願書配布、願書受付が6月上旬から7月下旬で試験日が10月中旬となります。そして12月下旬に合格者の受験番号、氏名を官報で公告するとともに文部科学大臣から合格証が交付されます。当技術士会でも日程が決まり次第皆様にお知らせをいたします。

以上、受験支援委員会の活動内容を述べましたが、これからも限られた人数ではありますが、引き続きご質問、問い合わせ等にできるだけきめ細やかに応えていきます。不明な点や受験に関する疑問点があれば以下へお尋ねください。

[問合せ先]

〒275 - 0016 千葉県習志野市津田沼2丁目17番1号

千葉工業大学産官学融合課内

T E L : 0 4 7 - 4 7 8 - 0 3 2 5

F A X : 0 4 7 - 4 7 8 - 0 4 3 4

e-mail : citpe@it - chiba. ac. jp

千葉工業大学津田沼校舎5号館（図書館）4階には技術士受験に関する書籍コーナーを設けております。千葉工大OBも閲覧、貸し出しが可能ですのでご利用下さい。但し、利用には手続きが必要ですので事前に以下まで確認して下さい。

千葉工業大学附属津田沼図書館

T E L : 0 4 7 - 4 7 8 - 0 2 3 9

F A X : 0 4 7 - 4 7 8 - 0 2 5 6

平成21年度 活動計画書

(活動期間：平成21年4月1日 ～ 平成22年3月31日)

前年度に引き続き、本会設立の趣旨に沿って、会員相互の交流・研鑽、本学の教育と研究への協力・支援、ならびに卒業生・院生・学生への技術士・技術士補資格取得のための支援を継続する。特に、本学の推進する産官学連携、JABEE認定プログラムなどについては前年度と同様に積極的な協力を行う。大学側と同窓会からの支援を得て、今年度の活動計画は、以下の事業を主とする。

1. 会員通信

本学と同窓会からの資金支援を得て、より充実した会報の年1回の発行を行う。

2. 技術士会ホームページ

大学と同窓会のご協力を得て、ホームページを開設することになった。記載内容などについて役員会において検討して早期公開を期す。

3. 講演会・会員懇親会

年1回の講演会を実施する。講演者は、本学関係者または地域産業関係者を主とするが、希望会員による在学生に対する特別講演も企画する。

会員懇親会は、従前通り原則として総会時とするが、随時に定期役員会（奇数月の第4金曜日）の終了後18:00から本学内5号館7階同窓会談話室にて開催する。

4. 在学生への専門特別講義

会報で報告したが、本学からの要望により昨年度は機械サイエンス学科の学生に対して技術士制度解説を主とした「社会における技術士（補）の役割」をテーマにした専門特別講義を15回に亘り開催した。今年度も同様の講義を実施する予定である。

5. 技術士制度の啓蒙

大学からの要望もあり本会の受験支援委員会による卒業生・院生・学生に対する技術士及び技術士補資格取得のための支援を継続する。NEWS CIT および校友タイムスへの受験情報のタイムリーな記事掲載も行う。

6. 大学・同窓会事務局および産官学融合センターとの協調

同窓会および産官学融合センターとの協調を保ちつつ、本学の研究成果を積極的に推進する。

7. 他大学技術士会との連携

他大学技術士会と連携し、相互の情報交換などを通じて本会の更なる発展を期す。

8. 会員パーソナル・データの整備

本会設立時よりデータ収集に努めてきたが、未だ完全なるデータの収集に至っていない。本年度も会員諸氏のご協力を得て充実したデータの整備に努める。

9. 正会員・賛助会員の増員

新たに技術士・技術士補の資格を取得した本学卒業生・在学生も多数いると想定される。これら新資格取得者を含めて既取得者の本会への入会を図る。

平成21年度 専門特別講義について

(1) 機械サイエンス学科

開講科目「社会における技術士（補）の役割」は以下の講義内容で実施する予定です。

受講学生は3、4年生で当会の会員が講師を務めております

講義内容(案) -2009年度後期-

回	講義日	講義項目	講義内容	講師・現職
1	9/24	ガイダンス	ガイダンス（講義の進め方）、日本における技術士制度について学習する。	溝辺（技術士 電気電子） （千葉工業大学技術士会会長）
2	10/1	経験事例の紹介（1）	社会で活躍する先輩技術補（部門機械）による経験事例「水力発電設備の概要と非破壊検査」について学習する。	桶川（技術士補 機械） 日本工営パワーシステムズ(株)
3	10/8	経験事例の紹介（2）	社会で活躍する先輩技術士（部門建設）による経験事例について学習する。	堀田（技術士 建設） （株）建設企画コンサルタント
4	10/15	技術士一次試験の共通科目概要	技術士一次試験の共通科目、専門科目の出題内容と傾向について解説するとともに、受験対策を解説する。	桶川（技術士補 機械） 日本工営パワーシステムズ(株)
5	10/22	技術士一次試験の演習（1）	技術士一次試験の共通科目、専門科目相当の演習レポートの提出。	佐々木（技術士 機械） （千葉工業大学技術士会会員）
6	10/29	技術者の義務と事例	技術者としての社会的義務、リスク管理、プロジェクトマネジメントにおける責務等について学習する。	影山（技術士、建設） （財）日本建設情報総合センター
7	11/5	技術者倫理の事例検討	社会に対する技術者の責務と倫理について解説するとともに、技術者倫理が問われた事例を学習する。	影山（技術士、建設） （財）日本建設情報総合センター
8	11/19	経済性管理	企業が行っている事業企画、生産計画について、技術者に要求される事項について、実践的な立場で解説する。	小久保（技術士、建設、総合） 小久保都市計画事務所
9	11/26	人的資源管理	基本的な組織形態と行動モデル、労務管理、労働条件等及び技術士の概要について学習する。	松野（技術士、建設） 開発虎ノ門コンサルタント(株)
10	12/3	情報管理	組織としての情報開示、説明責任や知的財産権、情報ネットワーク等について学習する。	黒澤（技術士、金属） （株）アイ・ピー・ビー
11	12/10	安全管理	組織のマネジメントに重要なリスク管理や危機管理、労働安全等に関する内容を事例に基づき学習する。	山口（技術士、建設、総合） （社）埼玉県建設業協会
12	12/17	社会環境管理（1）	生産活動が外部環境に与える現状やその影響を学習するとともに、演習問題を出題する。	児島（技術士、建設） 三井住友建設(株)
13	1/14	社会環境管理（2）	グループ演習を通じて社会環境管理1の復習とブレインストーミングを使ったグループ演習を実施する。	児島（技術士、建設） 三井住友建設(株)
14	1/21	国際規格と相互認証の動向	国際規格の解説と、技術者資格の国際相互認証について学習するとともに、講義全般の課題を出題する。	久多羅木（技術士、建設） 東亜建設工業(株)
15	1/28	社会における技術士の役割 当講座のまとめ	具体的なプロジェクトを通じて技術士の役割を知る。倫理事例の学習と課題に対するレポート提出。	粕谷（技術士、建設） （千葉工業大学技術士会副会長）

(2) 電気電子情報工学科 三年生専門特別講義

電気電子情報工学科の総合システム工学コース（3年生）2009年後期に「技術者倫理」（必須）の講座が、9月29日から1月26日までの15週間、毎週火曜日、9、10時限に行われます。この中で、技術士会のメンバー3人が技術士に関連する講義を、以下の内容にて実施する予定です。

回	講義日	講義項目	講師
11	12/15	技術士法とJABEE、APEC、EMF	小久保 優 (技術士 建設、総合)
12	1/12	グローバル時代、国際的な場にて活躍する若き技術者に	奥山 晴及 (技術士 経営)
13	1/19	技術者の倫理 海外プロジェクトでの経験事例	中島 浩 (技術士 電気電子)

(3) 電気電子情報工学科 一年生専門特別講義

平成21年7月7日から毎週（火曜日）3回に分けて90分特別講義を行った。

講義内容は以下の通りでした。

技術士制度の概要

技術者倫理

技術者としての体験談

今、国は、社会は、企業はどんな技術者を必要としているのか？

そのためには大学の四年間、技術者としてなにを学んでおくべきか？

なぜ今、技術者倫理が必要か？ 等

回	講義日	講義項目	講義内容	講師
1	10/7	技術者制度 技術者倫理	日本における技術者制度と技術者倫 ・技術者としての体験談	溝辺 哲男 (技術士 電気電子)
2	10/14			
3	10/21			

J A B E E 認定について

< JABEE と技術士制度 >

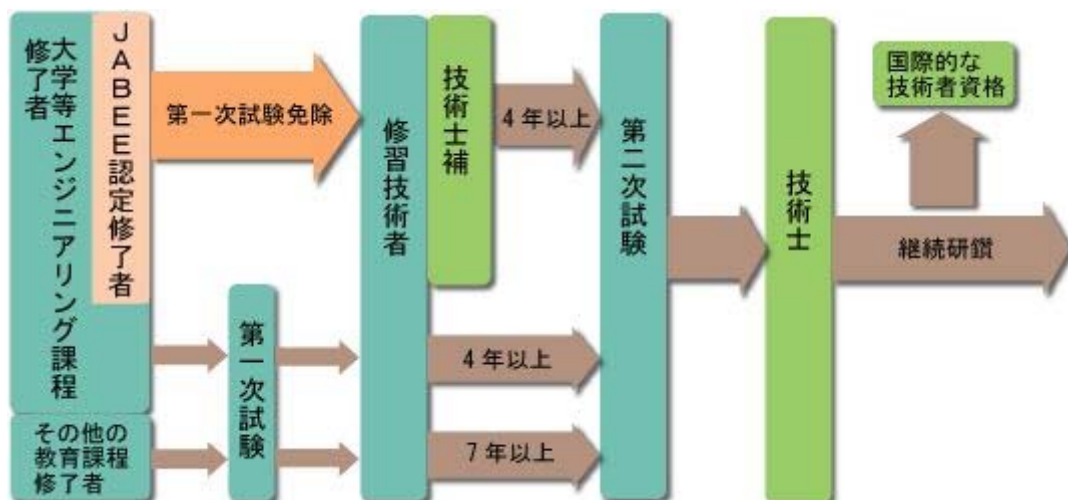
2004年4月、日本技術者教育認定機構(Japan Accreditation Board for Engineering Education; JABEE)が認定したプログラムの修了者は、文部科学大臣の指定を受けて技術士の第一次試験が免除されることになりました。国からも、科学技術創造立国の政策を推進する上から、多くの JABEE 認定プログラム修了者が技術士を目指すことを期待されています。

技術士法によれば、文部科学大臣が指定した教育課程を修了した者は技術士補となる資格を有するとされています。この「修了した者」とは、「認定された教育課程の修了者 (JABEE の認定プログラム修了者で文部科学大臣が告示した教育課程の修了者)」を指し、技術士第一次試験が免除されます。

また、JABEE 認定とは、国際化のため、EMF の求める「ワシントンアコード認定大学卒業生と同等の学業レベル」を保証するための制度で、大学など高等教育機関で実施されている技術者教育プログラムが、社会の要求水準を満たしているかどうかを外部機関が評価し、要求水準を満たしている教育プログラムを認定する専門認定 (Professional Accreditation) 制度です。

そして、この審査・認定を行う団体が日本技術者教育認定機構であり、日本技術者教育認定制度に基づき、1999年11月19日に設立されております。

現在、電気電子情報工学科では、この認定プログラムの認定準備を進めています。



以上参考資料：社団法人 日本技術士会「技術士試験 受験のすすめ」平成18年2月

会員の広場

技術士 機械部門 今井 誠
卒業年度 平成9年

私は、平成9年に精密機械工学科を卒業し、平成11年に大学院精密機械工学専攻を修了しました。卒業後はコンピューターの部品メーカー、貴石類の加工メーカーで生産、加工、開発業務を経験した後、昨年より特許事務所にて勤務しています。技術士試験は、平成18年に一次試験を、平成20年に二次試験を機械部門（加工・FA）で合格しました。現在技術士試験に挑戦されている方、これから挑戦する方に少しでも参考になればと思い、私の技術士試験の対策を紹介します。



技術士一次試験は、科学技術全般及び専門科目全般（私の場合、機械工学全般）から出題されるため、幅広い知識が必要です。そのためには、機械実用便覧を何回も読み、頭の中で整理しておくことが大切です。またその際、二次試験で受験する専門科目を予め決めておき、その部門を重点的に勉強すると、二次試験の負担が減ります。更に私は材料力学を苦手としていたので、特に力を入れました。

対策としては薄い問題集（できれば解答がくわしく記載されているもの）を何度も解き、問題の解法をパターンとして覚え込みました。実際に出題された問題は、パターンの応用で解けました。基礎科目、適正科目は過去問を中心に勉強しました。

技術士二次試験は、自分の専門科目を中心に論文のテーマを決めて論文を書く練習をしました。このとき、1つのテーマ毎に文字数を解答用紙1枚分、2枚分と分けて複数のパターンで書いておくと、受験時の短い時間の中で、要領よく論点をまとめて書くことができます。

これを受験までに100テーマ程度書きました。そして、通勤時間などを使って読み込み、受験直前には何も見なくても書けるまでに覚え込みました。共通科目については「日経ものづくり」などを読み、ここ2、3年のトピックを書き出して専門科目との関連をチェックしておくとう有効です。私の時は、前年に中越地震があったので、専門科目における地震への対策、環境対策などが出題されました。

提出論文については、二次試験前に予め大まかにまとめた論文を準備しておくことが有効です。論文試験の合格発表から論文提出までの期限が短いので、発表後から始めていたのでは、合格レベルの論文にするのは難しいと思います。また、口頭試験は、論文試験の自分の解答を再現して臨むことが有効です。試験官は、提出論文だけでなく論文試験の解答についても質問してきます。できれば他の人と模擬面接をしておくと、有効だと考えます。

最後に、私の近況としまして、現在特許事務所に勤務しており、今後経験を積みながら弁理士試験に挑戦すべく研鑽しております。若輩者ですが、今後も宜しくお願いいたします。

会報投稿へのお願い

次の会報は11月に発行の予定です。事務局では会報の内容充実を図っていきますが、それには会員からの投稿による情報提供が欠かせません。ご協力よろしくお願いたします。

会員の入退会状況

新規入会者

[正会員]

原田浩二	(はらだこうじ)	建設	土木	昭和 50 年	(株)銭高組
和泉彰彦	(いずみあきひこ)	建設	土木	平成 9 年	徳倉建設(株)
篠原哲也	(しのはらてつや)	建設	土木	平成 7 年	小田急建設(株)
今井誠	(いまいまこと)	機械	精密機械	平成 10 年	松永特許事務所
内藤雄介	(ないとうゆうすけ)	建設	土木	平成 15 年	開発虎ノ門コンサルタント(株)

退会者

[正会員]

小林久男	機械
井出公平	機械



【 役員会 】

『会員状況』

[正会員（計108名）]

都道府県別会員数

27	20	16	8	10	10	2	2	2	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1
東京都	千葉	神奈川	北海道	埼玉	東京都下	宮城	静岡	大阪	佐賀	秋田	福島	栃木	茨城	山梨	長野	兵庫	山口	福岡

卒業学科別会員数

64	15	10	4	5	3	3	1	2	1
土木	電気	機械	建築	工業化学	金属	電子	工業経営	精密機械	工業デザイン

登録部門別会員数

61	8	1	11	1	11	4	3	2	1	3	1	1
建設	建設総合	建設・環境、総合	電気電子	電気電子、総合	機械	経営	金属	上下水道	上下水道、総合	化学	衛生総合	航空宇宙

[賛助会員（計2社）]

1	1
東京都	千葉

[特別会員] 1名

会員合計 111名

『ホームページ開設のお知らせ』

千葉工業大学技術士会では、平成21年8月にホームページの開設をしました。
千葉工業大学のホームページにも案内を掲載しています。

千葉工業大学技術士会のホームページアドレス

<http://cit-gijyutsushi.jp/>

事務局だより

千葉工業大学技術士会 個人情報保護ポリシー

千葉工業大学技術士会（以降、本会という）は、業務上使用する会員原簿などの個人情報は「個人情報の保護に関する法律」に基づき厳正に管理維持します。

個人情報の利用目的は、本会の活動に限定するとともに、管理に当っては漏えい等の防止のための安全管理措置ならびに本人からの求めによる個人情報の開示・訂正・利用停止を行うものとしします。

個人情報を本会の活動以外の利用目的で使用する場合は、本人の承諾を得た上で会長の承認を受けることにします。

本会の役員、会員は個人情報保護の重要性を認識し、個人情報保護のための取り組みを継続的に実施し、改善を図ります。

～ 事務局からのお知らせ ～

人材バンク登録のお知らせとお願い

人材バンクへの登録内容は、技術士会がこれから活動を本格化していく上で、会員の皆様にお手伝いをしていただける以下の内容に絞り登録することを考えています。

- 技術士一次試験、二次試験の学生、院生、卒業生に対する受験指導支援への参加意思と参加可能時間
- 大学の産官学連携の取組みに対する支援参加意思と参加可能時間
- 会員相互、あるいは技術士会として技術情報提供サービスを行うにあたり、参加意思と参加可能時間 など

会費納入のお願い

私たちの技術士会の会員数は現在100名余りと小所帯です。まだまだ潜在して活躍されている卒業生はいるものと思います。会員の皆様のネットワークによるロコミを主力にした会員増強作戦を従来どおり展開していきますが、当面の活動には皆様方の会費に頼るしか手立てがありません。何卒、母校のため、技術士会のため、活動に支障がきたさないよう会費納入についてご理解をお願いします。

千葉工業大学技術士会 会員募集

会員の勧誘に個人情報保護の障壁もあり四苦八苦しています。今まで大学の『NEWS C I T』や同窓会の『校友タイムズ』を通じ技術士制度解説シリーズを掲載し技術士会の活動を広報しておりますが、新入会員は頭打ちの状況です。唯一、会員の広いネットワークに頼るしか手立てがありません。お知り合いに技術士、技術士補の方がおりましたら、事務局までご一報ください。ご協力よろしく申し上げます。

賛助会員加入へのご協力のお願い

賛助会員の会費は一口1万円です。会員の企業、団体または個人で趣旨に賛同いただけるようでしたら、賛助会員の加入についてのご協力をお願いします。

The Next Stage Housing
三井住友建設の次世代マンション

LEAFTOWER
大地の上に立つ大樹



E_{arth}
cology
nvironment

Co_{mfort}

E-Comfort
量から質へそして環境へ

- L Long Life
- E Ecology & Economy
- A Advanced Amenity
- F Free Plan & Free Facade



三井住友建設
<http://www.smcon.co.jp/>

お問い合わせ先
広報室 Tel. 03-5332-7230
information@smcon.co.jp



千葉工業大学技術士会 会報第5号 平成21年11月20日発行

千葉工業大学技術士会 広報委員会

〒275 - 0016 千葉県習志野市津田沼2丁目17番1号

千葉工業大学産官学融合課内

電話 : 047-478-0325

FAX : 047-478-0434

H P : <http://cit-gijyutsushi.jp/>

e-mail : citpe@it_chiba.ac.jp

メールアドレスをお持ちの方、アドレスの変更があった方は上記アドレスまでお知らせ願います